

臨時閣議及び閣僚懇談会議事録

開催日時：平成27年11月27日（金） 17：08～17：13

開催場所：総理大臣官邸閣議室

出席者：安倍晋三 内閣総理大臣
麻生太郎 国務大臣（副総理、財務大臣、内閣府特命担当大臣）
高市早苗 国務大臣（総務大臣）
岩城光英 国務大臣（法務大臣）
岸田文雄 国務大臣（外務大臣）
馳浩 国務大臣（文部科学大臣）
塩崎恭久 国務大臣（厚生労働大臣）
森山裕 国務大臣（農林水産大臣）
林幹雄 国務大臣（経済産業大臣、内閣府特命担当大臣）
石井啓一 国務大臣（国土交通大臣）
丸川珠代 国務大臣（環境大臣、内閣府特命担当大臣）
中谷元 国務大臣（防衛大臣）
菅義偉 国務大臣（内閣官房長官）
高木毅 国務大臣（復興大臣）
河野太郎 国務大臣（国家公安委員会委員長、内閣府特命担当大臣）
島尻安伊子 国務大臣（内閣府特命担当大臣）
甘利明 国務大臣（内閣府特命担当大臣）
加藤勝信 国務大臣（内閣府特命担当大臣）
石破茂 国務大臣（内閣府特命担当大臣）
遠藤利明 国務大臣

陪席者：萩生田光一 内閣官房副長官
世耕弘成 内閣官房副長官
杉田和博 内閣官房副長官
横畠裕介 内閣法制局長官

閣議案件：別添案件表のとおり。

○一般案件 1件

案件表のとおり、決定となった。

議事内容：

○菅国務大臣：ただ今から、臨時閣議を開催いたします。

まず、臨時閣議案件について、世耕副長官から御説明申し上げます。

○世耕内閣官房副長官：臨時閣議案件について、申し上げます。「平成28年度予算編成の基本方針」について、御決定をお願いいたします。本件につきましては、後程、内閣総理大臣、甘利大臣及び財務大臣から御発言があります。

○菅国務大臣：次に、大臣発言がございます。まず、甘利大臣。

○甘利国務大臣：先に開催された経済財政諮問会議での答申を経て、本日、「平成28年度予算編成の基本方針」が閣議決定されたところであります。

この「基本方針」では、平成28年度予算編成の基本的考え方として、「一億総活躍社会」の実現に向けた取組やTPPといった喫緊の重要課題への対応に関しては、平成27年度補正予算での対応と併せて、同計画の趣旨や施策の優先順位を踏まえ、適切に対処すること、平成28年度は「経済・財政再生計画」の初年度に当たるため、歳出改革を着実に推進するとの基本的考え方立ち、経済財政諮問会議において策定する改革工程表における取組を的確に予算に反映させることと併せ、同計画における国的一般歳出の水準の目安を十分踏まえた上で、編成すること、予算への反映も含めた計画に沿った取組について各府省は公表を行うことなどを示しております。

この基本方針の取りまとめに際し、御協力いただいた閣僚各位に感謝申し上げます。

○菅国務大臣：次に、内閣総理大臣から御発言がございます。

○安倍内閣総理大臣：平成28年度予算は、「経済・財政再生計画」の下で編成する初年度の予算であり、「平成28年度予算編成の基本方針」はその土台となるものである。

平成28年度予算については、この基本方針に基づいて、一億総活躍国民会議の「緊急に実施すべき対策」、TPPへの対応をはじめ、現下の重要課題に対応する施策に重点化するとともに、「経済・財政再生計画」における一般歳出の水準の「目安」を十分踏まえた上で編成することとし、改革工程表に沿って聖域なく徹底した歳出改革を行うこととしたい。

財務大臣におかれでは、こうした方針の下で今後の予算編成に当たっていただき、閣僚各位におかれても、徹底した歳出改革に取り組むよう、お願いしたい。

○菅国務大臣：次に、財務大臣。

○麻生国務大臣：平成28年度予算は、本年6月に閣議決定した「経済・財政再生計画」の初年度にあたる予算であり、この計画をしっかりと具体化していかなければなりません。このため、一般歳出の水準の「目安」を十分踏まえて編成することとし、聖域なく徹底した歳出改革を行うとともに、一億総活躍国民会議の「緊急に実施すべき対策」、TPPへの対応をはじめ、現下の重要課題に対応する施策に重点化していく必要があると考えます。

こうした考え方の下、予算編成を進めてまいりたいと考えており、各大臣の御理

解と御協力をよろしくお願ひ申し上げます。

○菅国務大臣：これをもちまして、臨時閣議を終了いたします。

引き続き閣僚懇談会を開催いたします。

御発言はございますか。

無いようですので、以上をもちまして、閣僚懇談会を終了いたします。

[別添]

臨時閣議案件

平成27年
11月27日

(金)

◎一般案件

資料あり ○平成28年度予算編成の基本方針（決定）
(内閣官房・内閣府本府)

[○署名あり ☆署名なし]